



神奈川県立相模原高等学校

同窓会アニバーサリー50

同窓会設立 50 周年記念号

県相同窓会 設立50周年記念式典

平成29年5月20日(土)
14:00~14:30

式次第

1. 開式の言葉
2. 校歌斉唱
3. 同窓会長挨拶
4. 実行委員長挨拶
5. 来賓祝辞
6. 来賓紹介・祝電披露
7. 閉式の言葉



設立50周年記念式典 盛大に挙行される

平成29年5月20日(土)、県相同窓会設立50周年記念式典が、小田急ホテルセンチュリー相模大野にて、来賓として加山俊夫相模原市長、坂本和彦校長、西村一郎PTA会長、歴代校長ならびに恩師にお越しいただき、ご来賓を含め総勢二八四名の出席のもと挙行された。佐藤功岳同窓会長、小林栄一実行委員長の挨拶の後、来賓の方々から「祝辞をいただいた。加山市長は「市職員をはじめ、各界に多くの優秀な人材を輩出しており、今後もさらなる活躍を期待したい。」と祝辞を述べ、坂本校長からは「礼節・信義・根性の校訓が次世代に脈々と受け継がれており、社会で活躍する人材を送り出していききたい。」と挨拶があった。



加山相模原市長



小林実行委員長



佐藤同窓会長



坂本校長



左から坂本校長、西村PTA会長
南元校長、井上前校長

盛り上がる！祝賀会風景



乾杯の風景



吹奏楽部OBの校歌演奏



応援団の指揮による校歌斉唱



式典の成功を祝し万歳三唱

記念講演

「コミュニティFMが地域に果たす役割」

株式会社エフエムさがみ 代表取締役 平岩夏木(13期)



東日本大震災の際、エフエ

エフエムさがみは「コミュニティFM局」といわれるラジオ局です。全国のコミュニティFM局は三〇九局あり、放送エリアは、市町村単位の地域に限定されるため、地域の商業、行政情報や独自の地元情報に特化し、地域活性化に役立つ放送を目指しています。更に「防災・減災、災害発生時の情報伝達」は、コミュニティFMが担う大きな役割です。開局には総務省の免許が必要で、市町村単位の地域に1つしか認められないため、相模原市にはエフエムさがみだけです。

「コミュニティFMは、「臨時災害放送局」としての役割を担っています。臨時災害放送局は、地震や火山の噴火、風水害などによって、甚大な被害が発生した場合に開設され、災害関連情報、避難場所、救済物資、ライフライン復旧状況などを提供します。相模原市の場合は、「臨時災害放送局」としての役割を担うのは「エフエムさがみ」で、相模原市、町田市、愛川町と「防災協定」を結んでいます。

この経験から、きめ細かい放送をするために、エフエムさがみでは独自に「HOT情報サポーター」という取り組みを開始しています。災害や事故などが周辺で起こったとき、その情報をメール等で知らせてくださる方のネットワークづくりです。信頼できる方々に、直接、協力をお願いをして、登録をしていただいています。

「信頼できる口コミ」を送るに活かすためにも、もっと人数を増やしていきたいと考えています。

インターネットが普及し、テレビ、ラジオ、新聞といった従来のメディアの価値が、どんどん小さくなってきています。「イメージ」があります。今はパソコンだけでなく、「スマートフォン」にラジオアプリを入れることで、スマホで番組を楽しめるようになっていきます。ですから、ツイッター、フェイスブック、ラインなどをやりながら、ラジオは聴くことができるのです。地域情報に特化したコミュニティ放送の数も増えていて全国の番組が聴けるので、実は、若い人にとってラジオは決して忘れていく存在ではないのです。

第1期生が卒業してから50年。一万六千名を超える「卒業生の皆さん」のお力添えもいただくと大変ありがたいです。そのお力添えの方法ですが、「どうぞ、まず1週間、どの番組でもいいので、83.9MHzのエフエムさがみを聴いてみてください。」と癖になると思います。どうぞよろしくお願いたします。

盛況だった祝賀会 懐かしい先生方を囲んで

先生方からコメントをいただきました

県相同窓会創立50周年おめでとうございます。この事業の開催にご苦労をされた関係者の方々に敬意と感謝を申し上げます。

私は、6期生から31期生の入学まで実に26年間の生徒に関わってきました。祝賀会では、往時の生徒（卒業生）何人も昔の話に華を咲かせて楽しい一時を送らせて頂きました。感激！

志村 春雄

祝賀会で挨拶する井上前校長



乾杯の準備をする同窓生達



この度はお声をかけていただき有難うございました。懐かしい先生方と久しぶりにお会いでき楽しい会になりました。教員は残念ながら多くはなかったですが、これまた会話を盛り上げることが出来ました。

私は麻溝台高校から県相に赴任しましたが、野球部を早めに辞め、色々ご迷惑かけました。が、思い出という少くも貢献できたといえ、体育祭の際に、色々と問題があったので、生徒会の生徒と協議し、麻高方式に変えました。

それから30年近くなりますが、伝統というか現在も受け継がれているようなので、チョイ嬉しく思っています。これから地域の基幹校として益々のご発展を期待しています。

菅橋 博

懇親風景



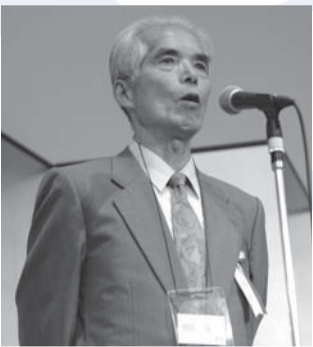
同窓会創立50周年記念式典が、盛大に行われました。心からお喜び申し上げます。祝賀会では、先輩の先生、同窓会の皆様方と昔話をさせていただきました。当時、20歳の私にとって懐かしく幸せな気持ちになりました。ありがとうございました。

井上 壮

神奈川県立相模原高等学校同窓会創立50周年おめでとうございます。

式典での同窓会長のあいさつの中で、「土建体育」という言葉に、ふと50年前の記憶がよみがえってきた。野ばらの中にぼつんと建つ校舎。グラウンドは、石ころだらけの状態で、体育の事業は、石拾い、地ならし等の作業から始まった。新しい学校づくりは自分たちの手で、いろいろな場を汗を流してくれたこと思い出された。

横田 進



乾杯の挨拶をする横田先生

同窓会創立40周年に続き、図々しくも50周年にも参加させていただき、ありがとうございます。同窓会組織がしっかりして、今回もそのパワーに圧倒されました。創立期の「土建体育」(笑)によって、学校づくりの土台が確立されたからではないかと思えます。

私はわずか3年しか在職せず、しかも指導力不足により41〜43期生には大変な迷惑をかけた反省し、今なお悔いしています。何年先になるかわかりませんが、JR相模原駅の米軍基地が返還され、そこに県相が移転し、その新校舎の隣接地には野球場や陸上競技場・体育館・市庁舎・市民文化会館などが立ち並び光景を夢見ています。卒業生の皆さんが「県相から世界へ」と羽ばたき、地域で、さらには世界で、たくましく活躍されることを切に願っております。

綿引 光友



先生を囲む1期生

創設以来、「礼節・信義・根性」、「文武両道・切磋琢磨」が脈々と受け継がれ50年が経過しました。同窓会50周年記念式典並びに祝賀会では、100周年に向け新たな一歩を踏み出したと感じました。県相のますますの発展をお祈りいたします。

前校長 井上 晋哉

同窓会50周年、誠にありがとうございます。素晴らしい記念式典でした。懐かしい顔々、声に迎えられる50年の歳月が戻ってきた様でした。1期生とも歓迎でき、卒業生の活躍を知ることでもでき、この夏、この上ない喜びの時でした。全員での校歌斉唱からは元気を貰いました。有り難う。皆様のご多幸と同窓会のご発展を祈念します。

和田 勇

県相同窓会50周年祝賀会に案内いただき楽しみに出席しました。懐かしい先生方とも話をしましたが、当時の生徒諸君に沢山再会を果たし、あつという間に40年前の自分に戻ったようでした。担任をしたクラスの生徒、部活の部員とも話が弾みました。講演なさった立石(上田)夏木さん、嬉しく思いました。宴会終了後、私が最後に担任したクラスの仲良し女子3人と二次会をしました。石田先生ともども楽しく面白く5人して笑い転げました。是非沢山のメンバーを集めてまた会をしたいと約束しました。県相は私の青春そのものです。皆さんもそうでしょう。仲間を大切にしたいと思えます。

渡邊 努



懐かしい先生方

このたびの50周年記念事業にご招待ありがとうございます。50年という長い期間、そのうち私はたった5年でしたので、氏名がないことも予想しておりました。年をとると忘れるものです。受け持った生徒さんにも名乗っていたらよかったかもしれません。そして写真を撮り送って貰いました。機会を与えてくれた企画者に御礼申し上げます。盛会の同窓会、これからますますと続くことを願っております。

長田 敬幸



20代後半に県相に着任し、全力投球で生徒と触れ合い、土日朝から夜までハンドボール指導に明け暮れました。12期・16期・19期の担任を任せられ多くの生徒の指導ができました。体育の授業では、学校の外周を雨の日、風の日、暑い日、寒い日も我慢して一緒に良く走りました。

同窓会50周年記念式典・祝賀会では、多くの卒業生に再会することができました。12期の人達と思い出話で盛り上がりました。企画した役員の方々に感謝です。私にとっても感激した有意義な日となりました。色々ありがとうございました。

斎藤 誠二



閉会の挨拶をする1期の杉崎さん

県相同窓会創立50周年記念事業では、第1期生の卒業生の多くの皆さんとお会いすることができ、大変懐かしく本当に嬉しかったです。

講演では、第13期生でエフエムさがみ社長の平岩夏木さんがお話になった「ラジオの歴史」を興味深く拝聴しました。戦前・戦後のラジオ放送の変遷について、知らなかったことが数多くあり、とても感動しました。

第1期生が卒業してから半世紀が過ぎましたが、佐藤会長と会長を支える役員の方々の努力の積み重ねにより、盛大な記念事業を遂行していただき、本当に感謝しています。

県相同窓会が創立100周年に向けて、これからも末永く活動が続きますことを祈念しております。

相浦 研二郎

同窓会50周年記念事業に出席し、皆様と共に祝賀会に出席し、皆様と共にお祝い出来たことを嬉しく思いました。会場に溢れる会員の数には驚きました。同窓会の発展と記念すべき事業への役員・幹事の皆様の意気、取り組みの賜物です。

祝賀会では、卒業以来初めて会う会員が殆どで、その活動等を頼もしく感じました。限定された時間で回るのは無理で、一部の人間になってしまったのは残念でした。

校歌斉唱では盛り上がり、吹奏楽部OB・OGの演奏に合わせて、声高らかに歌い上げ、感動しました。校歌と言え、難しい言葉が使われ、メロディーは重々しいものが多いですが、相模原高校の校歌は歌い易く優れています。

希望を述べるとすれば、何か記念に残せるものがあればいいと思います。式典の次第、祝賀会の記録等です。

石田 充

「最後まで努力する」というものです。校長としては勤務校を選ばないで済みますが、最後が県相で本当に良かったと心より思っております。

元校長 南 敏章



井上先生・横田先生・相浦先生



校歌の指揮をとる
48期生の小谷さん

県相同窓会50周年事業に親子(3期と37期)で参加させていただき、感謝と感激で一杯です。ありがとうございました。

3期 高橋 哲

県相生は、こんなにもパワフルで、優秀な人材となって、社会に貢献しているのだと誇らしく、感動しました。陸上部の先輩、先生方、ご健在にて何よりです。次回「60周年記念」参加します!!

2期 村田 英子(宮崎)

私は40周年記念事業より同窓会のお手伝いをさせて頂いております。裏方の大変さは当日の皆の笑顔で良かったと胸をなでおろした次第です。60周年にむけ自身と皆の健康を願う日々です。

2期 遠藤 一美



6期生

同窓会50年を担って来られた皆様の熱い思いが伝わる式典祝賀会でした。1期生として入学し生涯の友となる人と出会えたことが宝です。

1期 田中 慶子(金田)



11期生と12期生の乾杯

仲間に合えることを楽しみに、再会したい友を誘い参加しました。久しぶりに、校歌を歌うことのできた自分にピックリ、県相生と実感。

7期 榎本 よし子(原)

県相の信条は、文武両道である。高校時代のテーマは、受験とスポーツであった。その県相生が社会人になったらどういふ文武両道を貫くのか。今まで何も考えてみなかったが、50周年を機会に考えてみたいと思う。

6期 山口 秀夫

卒業後それぞれの道を歩んで50年、久しぶりに会った同窓生と楽しい時間を過ごすことができました。最後の校歌斉唱では応援団のリードが庄巻でした。

1期 林田 照代(小俣)

県相同窓会記念事業に出席できましたことを今でもとても嬉しく存じます。幹事の皆様ならびに関係されたスタッフ、同窓生の皆様へ心より感謝申し上げます。

月並みですが、今回も懐かしい恩師の先生方にご挨拶できたこと！六期会のメンバーと再会できたこと！そして、何よりも同期ながら在学当時一度もお話できなかった方と楽しい一時を過ごせたこと！20年以上も前、秘かにファンとしてFAXを送り続けた夏木様が同窓生であること！良いことをあげたらきりありません。

3期 高橋 哲

これらも皆様のご尽力の賜物と改めて御礼申し上げます。とにかく驚きました！20年以上も前ファンとしてFAXを送り続けたエフエムさがみの夏木様が同窓生だったなんて、でもうれい限りです！びっくりした余り、握手も求めなかったことを後悔しています(笑)

6期 小泉 義隆

50周年に出席し懐かしい先生方や友に出会え多くの方とふれ合うことができました。次回はより多くの若い世代の参加を期待します。

1期 田中 加奈子

まずは、幹事団並びに先生に御礼申し上げます。感想は、「楽しかった、嬉しかった。元気でよかった」です。親友5人の内1名が一昨年他界して「残念」の一言、写真で参加してもらいました。「元気が一番」です。また、元気に再会したいものです。

1期 磯部 文保



司会の8期生の山崎さん

県立相模原高校生徒諸君、益々栄えあれ！我「青春」時代も悔い無し、現在の「老春」時代も悔い無し。よって我人生悔いは無し。

3期 長井 哲夫

転勤の多い仕事のせいか、行方不明者扱い(残念)だったようでした。直前に同期から連絡があり参加することができました。50年振りの再会、本当に楽しい時間を過ごしました。世話役の皆さん本当にお疲れ様でした。

3期 富山 弘巳



9期生と10期生

祝県相同窓会50周年。部活(ハンドボール)で「根性」楽しい思い出です。同窓会の益々の発展を祈念します。

5期 西村 信彦

昨年遠征を迎えた9期野球部の政木です。準備に携わった皆様へ御礼申し上げます。野球部壮行会と違い初対面の方々が多く、新鮮で年代交流が出来た有効なイベントでした。

9期 政木 豊

記念講演の中の「県相の卒業生だ」という信用して頂けたりするんです」というフレーズに嬉しくなりました。祝賀会は笑顔だらけでした。

8期 高野 久美子

26期生



50年近く経過しているのに卒業アルバム面の影がすぐに浮かびました。縁あって同じ時期を過ごした方々は大切にしたいと思います。

3期 渋谷 恵子

今回の記念事業に参加し前回の記念事業以来に会えた仲間、又、卒業以来50年振りに会えた仲間と親交を深められたことは大変有意義な時間を過ごせたと思います。

1期 森田 久男

在校当時の記憶をたどりながら楽しみたいと時を過ごさせていただきました。ハンドボールOB会でも創部50周年記念祝賀会を来年に向け思案中です。

5期 八木 千露



受付

50周年に参加された皆様、ありがとうございました。お酌に廻りながら、各テーブルの皆さんとの話が盛り上がり、1期生の集合写真に入り損ないました。今回は60周年との事、健康に留意し、再会を楽しみにしたいと思います。

1期 小林 栄一



11期生

同期生では唯一の参加でした。活躍されている諸先輩方とお知り合いになって、また交流ができてとてもうれしく思っています。次回60周年記念時はもっとたくさんの同期生の参加を期待しています。

40期 熊澤 絢介



ずらっと並んだ料理



2期生



3期生



8期生



1期生



14期生



短い時間でしたが、長い年月の中から凝縮されたエキスを絞り出すのは楽しいものだと思えて感じました。皆様ありがとうございました。

12期 吉田 修一

懐かしい先生方や仲間と会えて楽しい時間を過ごすことができました。百周年に向けて若い世代に交流の輪が広がることを期待します。

12期 熊坂 誠

12期は参加者が多く二次会も行きました。当時は話したこともないのに盛り上がるんですね。もし戻れたら高校野球の応援に行きたいし、もっと青春したかったと久しぶりに昔を思い出しました。

12期 坂本 敦子



友とのまったりした時間。好きな子と視線が合う。ラブレター。頑張った部活。辛いテストに眠い授業時間。今では良き思い出。それが同窓会で沢山蘇ってきた。「一生青春」校友皆様に贈ります。錆びないぞ。

12期 高橋 和雄

今回は、実行委員としても携わり、先輩や後輩の方々と一緒にお手伝いをさせていただきました。皆さんの漲る実行力に感謝しています。

14期 石井 光行

私は現在茨城県に在住していますが、たまに先輩や同期などと顔を合わせています。最近卒業生の各界での活躍が話題になりました。特に1期上の八郷先輩が、世界のホンダの社長に就任されており、同じ卒業生として大変誇りに思います。相模原から離れてしまいましたが、心はいつも県相のまま、これからも同窓生の活躍が楽しみです。

13期 工藤 敏隆



皆平等に歳を重ね、50代のおじさん、おばさん。でも、会えば気持ちは当時のまま。それぞれの人生を語り合い旧交を新たに深めたいですね。

19期 武田 佳苗 (真鍋)

この同窓会がきっかけで、参加者がそれぞれ声をかけて7月に24期の60人余りが集まるミニ同窓会を開催することが出来ました。

24期 吉川 美由紀



同期の友人と出席した今回。同期の出席者は少なかったです。が、久しぶりに会えた面々に歳を忘れてしまいたいという方も。なかには卒業以来という方も。でも同じ高校で過ごした日々はあっとい間に時間を越えますね。部活の話、先生の話、あの子どうしてる？と話はつきず。もちろん二次会へGO！再会を満喫させていただき、ありがとうございました。

今、子供が県相に通っているのですが、県相OBのお子さんがたくさんいるのにびっくりしました。子供を通じてのちょっとした同窓会ができるんです。おかげで、子供より楽しんでおります。子供が入学してちょっとびっくりしたのが、校舎が変わってなかったこと。よく言えばレトロですが(笑)。もう少ししますと、子供と一緒にこういった会に出席できるんですね。子供には嫌がられそうですが、それも、これからの楽しみです。

代々のOB集合という会では、なかなか代を越えてお話しはできませんでしたが、県相という高校の50年の歴史を感じました。文武両道を掲げ、後輩たちも勉強にスポーツに音楽にと様々なことに頑張っているのは、50年続いた校風にもあると思います。築き、つたえる、ということをこれからも続けていければ、改めて思った会でした。県相に行きたい！、行ってよかった、県相でよかった、県相の卒業生でよかった、とこれからの子供たちに言われる学校に引き続きなりたいと思います。県相に行ってきた一人として。

20期 植野 律子 (榎本)

「祝賀会での、フォークソング同好会OB中島(西尾)信夫くん・寺島達雄くん・平野重成くん(ええ、みんな22期です)の飛び込みライブが大変よろしかったかと!」

22期 河本 康弘



高三時担任の山口英博先生をはじめ、懐かしい面々にお会いでき、一気にタイムスリップしたようなひとときでした。次回はさらに多くの同窓生と再会することを楽しみにしています。素敵な催しをありがとうございました。

23期 松井 和泉

甲子園の季節また父の母校が出場しました。父を見ていつも羨ましく思っていました。4名の24期の方お会いできて良かったです。

24期 宮田 大悟



初の同窓会、これが縁で24期同窓会が開かれました。連絡が取れなかった24期の皆様、連絡先お知らせ下さい。繋がりが広がりますように。この出会いに感謝です。

24期 湯本 有美 (山本)

卒業して20年以上経った今、同窓会役員になり県相の強い繋がりを実感しました。これからも県相の方々と繋がりを大切にしたいです。

28期 寺田 博美



薄々そんな気はしていたけれど、29期は私一人。完全アウェーか?と思いきや、多くの素晴らしい校友の方々と貴重なひと時を過ごせました。さすが県相、やっぱりホームでした!

29期 染谷 耕平



同窓会50周年記念行事のおかげで、横の繋がりがだけでなく、縦の繋がりが出来たと感じています。繋がりが強くなる事を楽しみにしています。

33期 南 篤史



県相同窓会

第 32 号

発行
県立相模原高校同窓会
http://kenso.online/
相模原市中央区横山1-7-20
郵便振替 0028-0-22895
発行責任者 佐藤 功岳
編集責任者 細谷 孝司

大成功を収めた五十周年事業

会長 佐藤 功岳 (1期)



お陰をもちまして同窓会設立50周年記念式典は平成29年5月20日に相模大野の小田急センターホテルにて魔事なく盛大裡に開くことが出来ました。開催に当たっては、第1期生の小林栄一実行委員長に公私多端な中引き受けていただきまして、ことごとく御礼申し上げます。更には突然に近い状態で事務局を承諾いただいた第28期生の寺田博美さん・会計を

受け持っていたいただいた第1期生の座間美栄子さんをはじめ各実行委員の皆様には改めて御礼申し上げます。また緻密な処理が求められた、複雑化した参加申し込みに対応していただいた、受付担当の倉原保の皆さん、ご苦労をおかけしました。記念講演には第13期でエフエムさがみの社長平岩夏木さんの映像や音響を交えた講演は大変好評でした。有り難うございました。祝賀会では時空を超え、一気に往年に帰ってしまつたよう、和氣藹々の会場で、懐かしさ一入を絵に描いた様子でした。加山俊夫相模原市長には、お忙しい中ご出席いた

「県相」の新たな取組

校長 坂本 和彦



この4月に井上前校長の後任として、着任いたしました。同窓生の皆様方には日頃より母校の教育活動にご支援ご協力を賜り、大変感謝しております。本校は創立以来、校訓に「礼節・信義・根性」、モットーに「文武両道・切磋琢磨」を掲げ、「知・徳・体」のパラメータを取れた人材の育成を果たしてまいりました。

変化に対応できる資質や能力を育成することを目指してまいります。さて、本校は、平成28年度から、「理数教育推進校」並びに「学力向上進学重点校エントリー校」に指定されました。「理数教育推進校」の指定は3年間で、本年度からすべての生徒が①自ら課題を発見し、実験・実証を通して課題解決への道筋を探ること、②現代社会に求められる社会人基礎力の根幹となる論理的思考力の育成を図ること、を目指して「理数に関する課題研究」に取り組ま

ます。AI(人工知能)がどれほど進化しても人間にしかできないことがありま

す。課題を発見し、解決に導くプロセスを「課題研究」を通して学びます。「学力向上進学重点校エ

第40回 定期総会のご案内

平成30年度総会を下記のとおり開催いたしますのでご出席ください。

日時 平成30年5月20日(日) 午後4時から

会場 県立相模原高校 会議室

議題 平成29年度事業報告及び収支決算報告の件、他

※定期総会終了後に懇親会を行います。総会に出席される方は5月2日(水)までに、細谷まで御連絡ください。

TEL・FAX 042-752-0171

この機会に同窓会・クラス会を開催しましょう!

http://kenso.online/ 県相同窓会では...

ホームページを作成して活動内容をお知らせしております。

エフエムさがみの収録内容をホームページで聞くことができます。

クラス会・学年同窓会等でもお気軽にご連絡ください。

検索

同窓会を開こう!

開催に際し同窓会では、「通信費の補助」を行っております。

また、「同窓会名簿の管理」も行ってまいりますので、お気軽にご連絡ください。

本部よりお知らせ

補助金が2000円にアップ!

県相同窓会では、皆さんの同窓会開催の支援を行っております。

支援内容は、通信費として一人当たり2000円の補助を平成30年1月1日以降の申請から行います。また、名簿管理も行っておりますので、連絡先の確認や問い合わせ、住所変更の連絡等お待ちしております。

学年同期会・クラス同窓会の開催をお考えの方、ご連絡・ご相談ください。

懐かしい思い出がよみがえるひと時、現在の自分と昔の姿が交錯する瞬間、貴重な人生の「コマ」を県相の仲間たちと一度分かち合ってみませんか?あなたからの一声を、沢山の方が待つているかもしれませんよ?

注 通信費の補助の申込み方法はホームページをご覧ください。なお、名簿は同期会、クラス会開催する場合のみ提供します。また、住所が変わった場合は、左記にご連絡ください。

【連絡先】 県相同窓会
E-mail: kensohub@gmail.com

活動維持費を納入していただいた方々

平成28年4月1日～29年3月31日 (敬称略)

金額	氏名(旧姓)	期	クラス	金額	氏名(旧姓)	期	クラス	金額	氏名(旧姓)	期	クラス	金額	氏名(旧姓)	期	クラス
30,000	近藤 功	7	G	5,000	高橋 雄	12	C	2,000	佐々木 榮三子	4	A	1,000	萩原 友子	4	F
20,000	三枝 富博	2	D		山田 和也	17	D		木島 敬幸	4	B		原出 真子	4	G
16,000	17期有志一同	17			中田 悦也	18	F		小角 幸裕	4	C		井下 美子	5	C
10,146	8期同窓会一同	8			山田 博政	23	F		萩原 裕子	4	F		古向 美子	6	D
10,000	小林 栄一	1	C		山田 智美	27	D		木古 志子	4	F		今木 玲子	6	E
	小落 林一	1	C		山田 美智	32	F		小角 志博	4	G		木古 子	7	G
	小落 林一	1	C		山田 智博	32	F		山田 俊美	4	F		山田 隆正	8	E
	小落 林一	1	C		山田 俊美	33	D		山田 隆正	6	A		山田 隆正	9	A
	小落 林一	2	C		山田 隆正	3	E		山田 隆正	6	C		山田 隆正	9	H
	小落 林一	2	C		山田 隆正	1	B		山田 隆正	7	D		山田 隆正	10	B
	小落 林一	3	C		山田 隆正	1	D		山田 隆正	8	E		山田 隆正	10	B
	小落 林一	3	C		山田 隆正	2	C		山田 隆正	9	A		山田 隆正	11	G
	小落 林一	3	C		山田 隆正	2	F		山田 隆正	11	A		山田 隆正	11	G
	小落 林一	6	C		山田 隆正	2	F		山田 隆正	12	D		山田 隆正	12	A
	小落 林一	10	C		山田 隆正	3	F		山田 隆正	12	G		山田 隆正	12	E
	小落 林一	10	C		山田 隆正	3	F		山田 隆正	14	E		山田 隆正	14	A
	小落 林一	19	C		山田 隆正	4	F		山田 隆正	15	H		山田 隆正	14	A
	小落 林一	20	C		山田 隆正	5	F		山田 隆正	16	F		山田 隆正	14	C
	小落 林一	40	C		山田 隆正	5	F		山田 隆正	22	A		山田 隆正	15	D
	小落 林一	40	C		山田 隆正	6	F		山田 隆正	22	F		山田 隆正	19	H
5,000	藤澤 生道	1	A		山田 隆正	7	D		山田 隆正	22	A		山田 隆正	20	A
	藤澤 生道	3	B		山田 隆正	7	G		山田 隆正	22	H		山田 隆正	25	E
	藤澤 生道	3	E		山田 隆正	7	I		山田 隆正	23	A		山田 隆正	27	G
	藤澤 生道	3	F		山田 隆正	7	I		山田 隆正	23	B		山田 隆正	29	E
	藤澤 生道	4	A		山田 隆正	8	A		山田 隆正	26	B		山田 隆正	30	C
	藤澤 生道	4	A		山田 隆正	9	A		山田 隆正	27	B		山田 隆正	32	B
	藤澤 生道	4	A		山田 隆正	11	A		山田 隆正	27	B		山田 隆正	37	F
	藤澤 生道	4	A		山田 隆正	12	C		山田 隆正	29	B		山田 隆正	42	D
	藤澤 生道	4	A		山田 隆正	18	C		山田 隆正	33	B		山田 隆正	46	F
	藤澤 生道	4	A		山田 隆正	19	B		山田 隆正	33	B		山田 隆正	47	C
	藤澤 生道	4	A		山田 隆正	24	F		山田 隆正	33	B		山田 隆正	47	G
	藤澤 生道	4	A		山田 隆正	27	A		山田 隆正	33	B		山田 隆正	48	G
	藤澤 生道	4	A		山田 隆正	27	A		山田 隆正	33	B		山田 隆正	50	B
	藤澤 生道	4	A		山田 隆正	27	A		山田 隆正	33	B		山田 隆正	50	G
	藤澤 生道	5	B		山田 隆正	1	A		山田 隆正	3	A		山田 隆正		
	藤澤 生道	6	B		山田 隆正	1	B		山田 隆正	3	B		山田 隆正		
	藤澤 生道	6	B		山田 隆正	1	D		山田 隆正	3	C		山田 隆正		
	藤澤 生道	7	B		山田 隆正	1	E		山田 隆正	3	C		山田 隆正		
	藤澤 生道	7	B		山田 隆正	1	E		山田 隆正	3	D		山田 隆正		
	藤澤 生道	8	B		山田 隆正	1	F		山田 隆正	3	D		山田 隆正		
	藤澤 生道	9	B		山田 隆正	2	F		山田 隆正	4	B		山田 隆正		
	藤澤 生道	10	B		山田 隆正	3	E		山田 隆正	4	C		山田 隆正		

広告掲載募集のお願い

現在、県相同窓会活動予算は、毎年の卒業生からの入会金と活動維持費に依存しており、非常に厳しいのが現状です。そこで、恐縮ですが、皆さんに広告をお願いする次第です。何卒よろしく申し上げます。

連絡先 座間 美栄子(1期)
TEL 042-778-3951 E-mail: ok_eim321@yahoo.co.jp

広告料 1万円

お世話になってます

新聞の記事提供等同窓会活動については、坂本校長先生、増田副校長先生、宮坂先生、新山先生をはじめ、現職の多くの先生方及び事務の方々に大変お世話になっております。誠にありがとうございます。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

県相同窓会活動維持費(1,000円以上)納入のお願い

同窓会の活動費(新聞の発行等)は、毎年、卒業生からの入会金や同窓生からの活動維持費により賄われています。会員数の増加により、新聞の発送等の経費が増加しています。

現在、同窓会の運営が非常に困難になっておりますので、「活動維持費 1,000円以上」の納入のご協力をぜひお願いいたします。私たちの大切な母校・県相を誇る同窓会を卒業生の皆さんの温かい気持ちで助けてください。

この新聞に同封されている振込用紙を手で郵便局で納入をお願いいたします。

～卒業生を訪ねて～

心は常に青春

三枝 富博(2期生)



同窓生の皆さん、お元気にお暮らしですか。2期生の三枝富博です。本年3月に㈱イトーヨーカ堂の社長に就任致しました。

1960年代後半の高校生活、県相の草創期で、且つ多くの矛盾も露呈し、我々若者もその波に洗われる激動の時代でした。学校の仲間達と国の将来を憂え、語り合い、また自分の進路、人生はどうして行くべきか、共に悩みながらも前へ進もうとしていた県相時代でした。それが普通の高校生だった様な気がします。大学を卒業し、入社し、

すべての基礎は県相にあり

宮崎 雄一郎(19期生)



皆様、こんにちは。県相野球部19期の宮崎雄一郎です。

今回は、春県大会準優勝のエース宮崎君(50期)との「親子登板」とのことです。大変光栄です。よく「息子さん」と聞かれますが、「もしそうだったら嬉しいのですが」とOBとして立教宮崎君と、県相の全てを応援しています。私は、現在、相模原市議

皆様、こんにちは。県相野球部19期の宮崎雄一郎です。今回は、春県大会準優勝のエース宮崎君(50期)との「親子登板」とのことです。大変光栄です。よく「息子さん」と聞かれますが、「もしそうだったら嬉しいのですが」とOBとして立教宮崎君と、県相の全てを応援しています。私は、現在、相模原市議

流れていきました。1966年中国内陸(四川省成都市)に渡り、中国駐在での仕事にスタート。国・民族・文化・言葉・社会体制・生活習慣・考え方の異なる方々・価値観も全く違う中で、日本のやり方が通用するわけではなく、多くの中国人と一緒に仕事を成果を出すにはどうしたらいいのか、日々真剣に悩みました。お互い信用信頼を築くには、相手に変わることが求められていく中で、自分が変わることが必要であり、そのためには、「仕事の目的」や「軸になるもの」をはっきりさせ、それが共有され、共感できないと痛感しました。経営理念やビジョンといわれるもの。「正しい考え方」を持ち、それを求心力として「人に喜ばれること」を一步一歩、着実にやり続けること、それを「皆のやりがいとする」と、そこに「創意工夫」を加えることで、多くの「ありがとう」をいただくことができました。企業は企業市民

とも言われます。ただ仕事やって利益を出せばいいというだけではなく、従業員一人ひとり、市民になるべく貢献することで、地域社会に貢献すること、地域のかけがえのない存在になることもできました。そのためには、常にリーダーが率先垂範して、前に立ち、進むべき方向を明確にし、実行していくことが、どんな時代、どんな組織でも求められるものです。経営も人生も「打率」だと思えます。理想100%を目指しても、常に上つたりの連続です。愚直にあきらめずにやる以外道はありません。年齢は自然に積み重ねられ、逃れることはできません。しかしながら、「心は常に青春」でありたいものです。好奇心を持って、目の前のことに集中することは、時の経つのも忘れてしまいたいものです。好きなこと、楽しいことをやり続けること。それが私にとっての仕事です。是非、心を前向きに元気に人生を楽しんでいこうではありませんか。

佐相監督と歩んだ3年間

宮崎 晃亮(50期生)



皆様こんにちは。県立相模原高校野球部50期の宮崎晃亮です。県相同窓会が50年を迎えるという事でこの機会を設けていただいたことにとても感謝しています。

現在、私は立教大学で野球をしています。県相での3年間です。素晴らしい経験が私に与えてくれました。私は旭中学野球部を引退後には甲子園に行くために東京の私立高校に進学しようと考えていました。そんな時に中学最後の大会を佐相先生が見に来てくださったことがありました。試合後には「県相で野球を一緒にやろう。甲子園に行こう。」という力強い言葉をいただきました。あまり感じたことがない自分が必要とされている感覚を感じました。それが県相に入学した大きな理由です。

入社時、産業界の誤診で内定を切れ、機長組合が会社と交渉し、約2年かけて誤診を証明し、パイロット訓練生に復帰しました。会社で復職した。空手同好会、柔道初段取得、相翼祭委員長等も経験し多くの親友ができました。3年G組の時、親友が、司馬遼太郎の「竜馬がゆく」をすすめてくれ、開眼し、医師としてより多くの国民を救える政治家を志し、文転しました。大学時代は、県相野球部の学生監督、明大雄弁部や留学生を支援するサークルの創設、パイロットしながらは民間で思い総合商社と航空適性試験に通り、JALの自社養成パイロットに決めた。副操縦士、その後10年以上厳しくも楽しい訓練を多く受けて、乗る切り機長になりました。

皆様に残っていることは佐相先生に「野球の命運はピッチャーが7・8割を握っている。みんなの夢をお前が終わらせるかもしれないからその責任を持つ練習しろ。」と言われたことです。50期のみならずは気持ちの面でもよく支えられ、

『卒業生をたずねて』に載せる同窓生を紹介してください。

「卒業生をたずねて」のコーナーでは、これからもより多くの卒業生の活躍をお知らせしていくために、皆様に当コーナーに載せたい同窓生のご紹介をお願いします。社会の第一線で活躍している卒業生はもちろん、趣味や特技を生かして地域や様々なコミュニティーで頑張っている卒業生など、この人を載せたいという同窓生がいらっしゃいましたらお気軽にご紹介ください。よろしくお願致します。

【連絡先】細谷 孝司 TEL・FAX 042-752-0171

「指定都市相模原」

経済も教育も地産地消

“県相”応援しています

2期 白井 憲二

東神興業株式会社

おうちのでんきのお困りごと、ご相談ください!

パナハートアイコー (有) 愛見電機商会

相模原市中央区水郷田名2-19-8 TEL:042-762-0433 定休日 水曜・祝日

代表 熊澤 均(7期生)

店長 熊澤 絢介(40期生)

ブログ更新中! 仕事の様子やお店の日常を綴っています。
http://aikou-denki.com または右のQRコードからアクセス!
facebook ページ「パナハートアイコー」も日々更新中!

新駅誕生 (2027年 南橋本予定-JR東海)

社会福祉法人 ワゲン福祉会

・総合相模更生病院 ・ワゲン療育病院長竹

・特別養護老人ホーム ・ワゲン保育園

理事 岡本 幸二 (3期生)

地元のラジオ局

エフエム ホット はちさんきゅう

FMHOT 83.9MHz

株式会社エフエムさがみ

代表取締役 平岩 夏木 (13期生)

期別出席者数

先生20/来賓3/同窓生261
合計284

単位：人

Table with 10 columns (1期 to 10期) and 10 rows of attendance data.

50周年記念事業収支報告書

単位：円

Table with 4 columns (収入の部, 支出の部, 金額, 内容) showing financial details.

平成29年5月20日(土)に小田急ホテルセンチュリー相模大野で盛大に行われた記念事業結果報告をいたします

「同窓会アニバーサリー50」結果報告

50周年記念事業で寄付をいただいた方々

※当日、受付が混雑したことにより、寄付者の記録が漏れてしまい、この一覧に掲載されていない方がいらっしゃる場合があります。誠に申し訳ございませんがご了承願います。

Large table listing donors with columns for amount, name, date, and class.

※誠にありがとうございました。

旗・幕・のぼり・祭用品

有限会社 東京サービス

あかつき旗店

代表取締役 佐藤 剛生 (3期生)

相模原市中央区星が丘1-3-15 (市役所通り)
TEL: 042-751-0345 FAX: 042-751-0346

HOLD

HOLD Judicial scrivener Office

司法書士 染谷 耕平 (29期生)
神奈川県司法書士会会員 / 簡裁訴訟代理関係業務認定資格者

HOLD司法書士事務所

〒252-0243 神奈川県相模原市中央区上溝 6-1-6
TEL: 090-8514-7338 FAX: 042-762-9234

不動産登記 / 相続遺言相談 / 会社・法人登記 / 企業法務

自然と共生を目指した食づくり

共生食品株式会社

代表取締役 三澤 孝道 (1期生)

〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台3-18-22
TEL 042-773-2333 FAX 042-774-0711

http://www.kyousei-f.jp/

ほけんのエイト



小林 春仁 (1期生)

〒252-0231 相模原市中央区相模原4-2-9 第2相模原ビル2F
TEL: 042-758-4451 FAX: 042-758-9121

営業時間
平日9:00~18:00 (土日、祝日は休業)
E-mail
info@8-ins.com
ホームページ
http://www.8-ins.com

